

福祉生活病院常任委員会資料

(平成25年10月4日)

【件名】

- | | | |
|---|-------------------------------------------------------|----|
| 1 | 第13回全国障害者スポーツ大会（スポーツ祭東京2013）について
（障がい福祉課） | 1 |
| 2 | 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について
（長寿社会課） | 3 |
| 3 | 子育て王国とっとり条例（仮称）【素案】とパブリックコメント等の実施
について
（子育て応援課） | 別冊 |
| 4 | 鳥取県新型インフルエンザ等対策行動計画について
（健康政策課） | 4 |
| 5 | がん患者労働相談ワンストップサポートの運用開始について
（健康政策課） | 9 |

福祉保健部

第13回全国障害者スポーツ大会（スポーツ祭東京2013）について

平成25年10月4日

障がい福祉課

1 目的

スポーツの楽しさと感動を通じて、障がいのある人もない人もお互いの個性を尊重し、支えあいながら共に生きることのすばらしさを実感できる大会を目指して、第13回全国障害者スポーツ大会（スポーツ祭東京2013）が、10月12日（土）から14日（月）までの3日間、東京都において開催されます。

鳥取県では、この大会に選手団を派遣するとともに、大会に参加する鳥取県選手団の結団式を下記のとおり開催します。

2 大会概要

名称 第13回全国障害者スポーツ大会（スポーツ祭東京2013）
期日 平成25年10月12日（土）から14日（月）まで
会場 味の素スタジアムほか
実施競技 正式競技：個人競技6種目、団体競技7種目
オープン競技：17種目
参加予定人数 5,500人（選手3,500人、役員2,000人）

3 主催

厚生労働省、公益財団法人日本障害者スポーツ協会、東京都ほか

4 鳥取県選手団結団式

日時 平成25年10月4日（金） 午前11時から
場所 とりぎん文化会館第2会議室

5 鳥取県選手団の構成

選手団長 福留 史朗（一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会会長）
派遣人数 正式競技：38名（選手19名、役員19名）
オープン競技：15名（選手10名、役員5名）
参加種目 正式競技：陸上、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスク、ボウリング（個人種目のみ）
オープン競技：グランドゴルフ、スポーツチャンバラ

6 選手団の派遣期間

平成25年10月10日（木）から15日（火）まで（移動日含む）

7 昨年度の成績

第12回全国障害者スポーツ大会は岐阜県で開催され、本県からは36名（選手18名、役員18名）が参加し、優秀な成績を収めた。

- ・金メダル合計3個：陸上1500m、水泳自由形25m、50m
- ・銀メダル合計8個：陸上100m 2個
陸上50m、200m、800m、砲丸投、立幅跳、卓球 各1個
- ・銅メダル合計7個：卓球 2個
陸上50m、立幅跳、ジャベリックスロー、水泳平泳ぎ50m、アーチェリー 各1個

<正式競技>

実施競技等	開催期日	会場名	
開会式	10月12日(土)	味の素スタジアム	
閉会式	10月14日(月)	味の素スタジアム	
個人競技	陸上競技	10月12日(土)～14日(月)	味の素スタジアム
	水泳	10月12日(土)～14日(月)	東京辰巳国際水泳場
	アーチェリー	10月13日(日)	三鷹市大沢総合グラウンド特設会場
	卓球(サウンドテーブルテニスを含む)	10月12日(土)～13日(日)	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
	フライングディスク	10月12日(土)～14日(月)	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
	ボウリング	10月12日(土)～13日(日)	調布スポーツセンター
団体競技	バスケットボール	10月12日(土)～14日(月)	東京体育館
	車椅子バスケットボール	10月12日(土)～14日(月)	東京体育館
	ソフトボール	10月12日(土)～14日(月)	都立光が丘公園野球場
	フットベースボール	10月12日(土)～14日(月)	都立光が丘公園野球場
	グラウンドソフトボール	10月12日(土)～14日(月)	都立武蔵野中央公園スポーツ広場
	バレーボール	10月12日(土)～14日(月)	国立代々木競技場第一体育館・第二体育館
	サッカー	10月12日(土)～14日(月)	府中市朝日サッカー場

<オープン競技>

実施競技	開催期日	会場名
ウィルチェアラグビー	10月12日(土)～10月13日(日)	BumB 東京スポーツ文化館
グラウンド・ゴルフ	10月12日(土)	東京都北区立中央公園野球場
車いすフェンシング	10月5日(土)	台東リバーサイドスポーツセンター
ゴールボール	10月12日(金)～10月13日(土)	青梅市総合体育館
視覚障害者ボウリング	10月5日(土)～10月6日(日)	シチズンボウル
障害者シンクロナイズドスイミング	10月13日(日)	東京都障害者総合スポーツセンター
スポーツチャンバラ	10月13日(日)	府中市押立体育館
スポーツ吹矢	10月14日(月)	BumB 東京スポーツ文化館
精神障害者フットサル	10月6日(日)	明治学院大学 白金キャンパス パレットゾーン
ダーツ	10月6日(日)	・飾区総合スポーツセンター体育館 大体育室
手のひら健康バレー	10月10日(木)	府中市 郷土の森総合体育館
バドミントン	10月12日(土)～10月13日(日)	町田市立総合体育館
ハンドサッカー	10月13日(日)	日本大学文理学部百周年記念館アリーナ
ブラインドサッカー	10月12日(土)～10月13日(日)	コスミックスポーツセンター大体育室
ボート	9月28日(土)～29日	アクアシティお台場
ポッチャ	10月13日(日)～10月14日(月)	東京都障害者総合スポーツセンター 東京都立北特別支援学校
ユニカール	9月29日(日)	上井草スポーツセンター

緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

平成25年10月4日

長寿社会課

- 1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費
 (6月11日から9月10日までに追加実施を決定した事業) 1,631千円

2 追加実施事業の内訳

事業名	本年度予算額 (うち新規雇用人件費)	雇用創出人数 (延べ)	①月額給料	事業内容
			②雇用期間(予定)	
介護サービス情報公表事業	1,631千円 (1,577千円)	1人	③被雇用者の要件	介護サービスの質の向上のため、利用者等に対しサービスの選択に資する情報を随時提供できるよう、県が各事業所の介護サービスの内容や運営状況に関する情報をインターネット上で公表するもの。事務担当者は、報告内容の審査・受理等に関し、介護事業所との連絡調整にあたる。
			① 137千円 ② H25年7月～H26年3月 ③パソコンによる事務作業ができる者	
合計	1,631千円 (1,577千円)	1人		

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

鳥取県新型インフルエンザ等対策行動計画について

平成25年10月4日
健康政策課

新型インフルエンザ等対策特別措置法（以下「特措法」という。）が平成25年4月13日に施行され、以下の改正方針により特措法に基づく「鳥取県新型インフルエンザ対応行動計画」の素案を作成し、今後、パブリックコメント等を経て改正する予定としています。

1 県行動計画の改正方針等

<県行動計画の改正方針>

○考え方

- ・各発生段階毎の具体的な対策については、従来の県行動計画で整理した対応等を継続する形で整理。ただし、緊急事態宣言時※には、法的措置に切り替えることが出来るよう整理。
※新型インフルエンザ等が国内発生し、全国的かつ急速なまん延により国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼす恐れがあると認められる時に政府が宣言発出
- ・特措法上の新たな要素を追加する。

○具体の変更内容

- ・法定化された「不要不急の外出の自粛の要請・指示」「施設の使用制限の要請・指示」等緊急事態宣言時の措置について明記
- ・特措法上の対象疾患である新感染症（※）への対応を追加
※新感染症とは、未知の感染症で、重篤性があり、かつまん延すれば健康への重大な影響が大きいもの。特措法では、そのうち全国的かつ急速なまん延のおそれのあるものが対象となる。
- ・特措法上の新型インフルエンザ等対策の実施主体である指定地方公共機関（※）の役割等を追加
※指定地方公共機関は、新型インフルエンザ等発生時に、その業務を通じて一定の公益的役割を果たして頂くため、公共性・公益性のある業務を行う民間法人をあらかじめ県知事が指定。国民保護法等に類似の仕組み有り。
- ・法定化された予防接種（特定接種・住民接種）の考え方、対象者等について明記 等

2 今後のスケジュール

- 平成25年10月初旬 パブコメ実施・関係団体への意見徴収・内閣官房へ意見徴収
平成25年11月下旬 常任委員会へ報告
平成25年12月初旬 県行動計画改正

鳥取県新型コロナウイルス等対策行動計画(県行動計画)の概要

県行動計画とは

- 新型コロナウイルス等対策特別措置法(特措法)に基づく行動計画。
- 県行動計画は政府行動計画に基づき作成。
- 県行動計画には、市町村、指定地方公共機関がそれぞれ策定する市町村行動計画及び業務計画を作成する際の基準となるべき事項を記載。

国、県、市町村、指定地方公共機関等がそれぞれ連携・協力し、発生段階に応じた総合的な対策を推進

県行動計画の概要

I 始めに【新規】

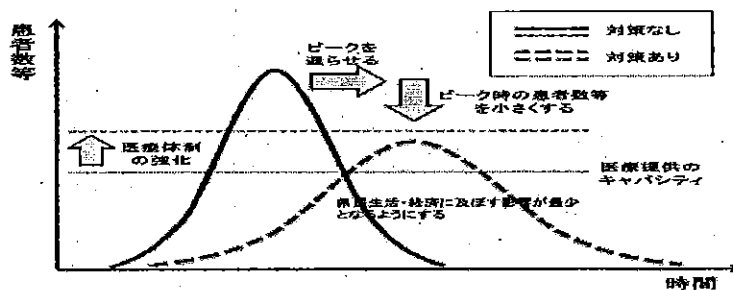
- 新型コロナウイルス等対策特別措置法の制定
 - ・新型コロナウイルス及び新感染症発生時に国家の危機管理対応の必要性から平成24年5月11日に「新型コロナウイルス等対策特別措置法」が制定。(法施行は平成25年4月13日)
- 県行動計画の作成
 - ・現在の県行動計画は平成18年1月に作成し、平成21年10月の一部改正を経て現在に至っている。このたび、特措法に基づく県行動計画に改正。
 - ・県行動計画の対象とする感染症を「新型コロナウイルス」及び「新感染症※」(以下「新型コロナウイルス等」という。)とする。
※新感染症とは、未知の感染症で、重篤性があり、かつまん延すれば健康への重大な影響が大きいもの。特措法では、そのうち全国的かつ急速なまん延のおそれのあるものが対象となる。
 - ・県計画に基づく具体的な対応については「鳥取県新型コロナウイルス対応マニュアル」等によるものとする。 ※マニュアルは今後改正予定

II 新型コロナウイルス等対策の実施に関する基本的な方針

<対策の主な目的>

- 感染拡大を可能な限り抑制し、県民の生命及び健康を保護する。
- 県民生活・経済に及ぼす影響が最少となるようにする。

<対策の効果 概念図>



II-3 新型コロナウイルス等対策実施上の留意点【新規】

- 基本的人権の尊重
 - ・対策実施のため、県民の権利と自由に制限を与える場合、その制限は必要最小限とする。
- 危機管理としての特措法の性格
- 関係機関相互の連携協力の確保
 - ・国や市町村と相互に連携を図りつつ対策を総合的に推進。市町村からの総合調整への対応。
- 記録の作成・保存

II-4 新型インフルエンザ等発生時の被害想定

○政府行動計画の、現時点の科学的知見や過去のデータを参考にした発病率(全人口の25%が罹患)、致命率(中等度(アジアインフルエンザ並み)の場合は0, 53%、重度(スペインインフルエンザ並み)の場合は2, 0%)を参考に、県内の流行規模を試算。

○未知の新感染症は、被害想定が困難であり、新型インフルエンザの被害想定を参考に対策を検討・実施。【新規】

○社会影響について、県民の25%が流行期間(8週間)にピークを作り順次罹患。罹患者は1週間から10日間程度罹患、欠勤。ピーク時の欠勤割合は最大40%。【新規】

(鳥取県の被害想定)

	鳥取県	参考(全国)
罹患者数	約152,500人	約3,200万人
医療機関受診患者数	約71,500人 ～119,200人	約1,300万人 ～2,500万人
入院患者数 (1日最大入院患者数)	約3,230人～12,200人 (480人以上)	約53万人～200万人 (10.1万人以上)
死亡者数	約810人～3,050人	約17万人～64万人

II-5 対策推進のための役割分担【新規】 ※従前県計画には国・県・市町村内組織の項目有り

○国の役割

・発生時の対策の実施。地方公共機関等を支援し、国全体の態勢整備を図る。その他、ワクチン、医薬品の調査・研究を実施。発生時には、基本的対処方針を決定し、対策を強力に推進。

○県の役割

・特措法及び感染症法に基づく措置の主な実施主体。国の基本的対処方針に基づき、地域医療体制の確保及びまん延防止を図る。

○市町村の役割

・国の基本的対処方針に基づき、住民接種、住民の生活支援、要援護者への支援を実施。

○医療機関の役割

・全ての医療機関で院内感染対策や医療資機材の確保、診療継続計画を作成し、新型インフルエンザ等患者の診療体制を強化、発生時には医療を提供。

・感染症指定医療機関や県知事指定を受けた「帰国者・接触者外来協力医療機関」「入院協力医療機関」は新型インフルエンザ等患者を積極的に受入れ、医療を提供。

○指定地方公共機関の役割

・新型インフルエンザ等発生時において、特措法に基づき、以下対策を実施。

ガスの安定供給、旅客・貨物運送の適切な実施、医薬品等の確保、物資の配送要請への対応、医療の提供等

○登録事業者

・新型インフルエンザ等発生時において、医療の提供、国民生活及び国民経済の安定に寄与する業務の継続。

○一般の事業者

・職場における感染対策の実施。一部業務縮小の検討。特に多数の者が集まる事業における感染対策の徹底。

○県民

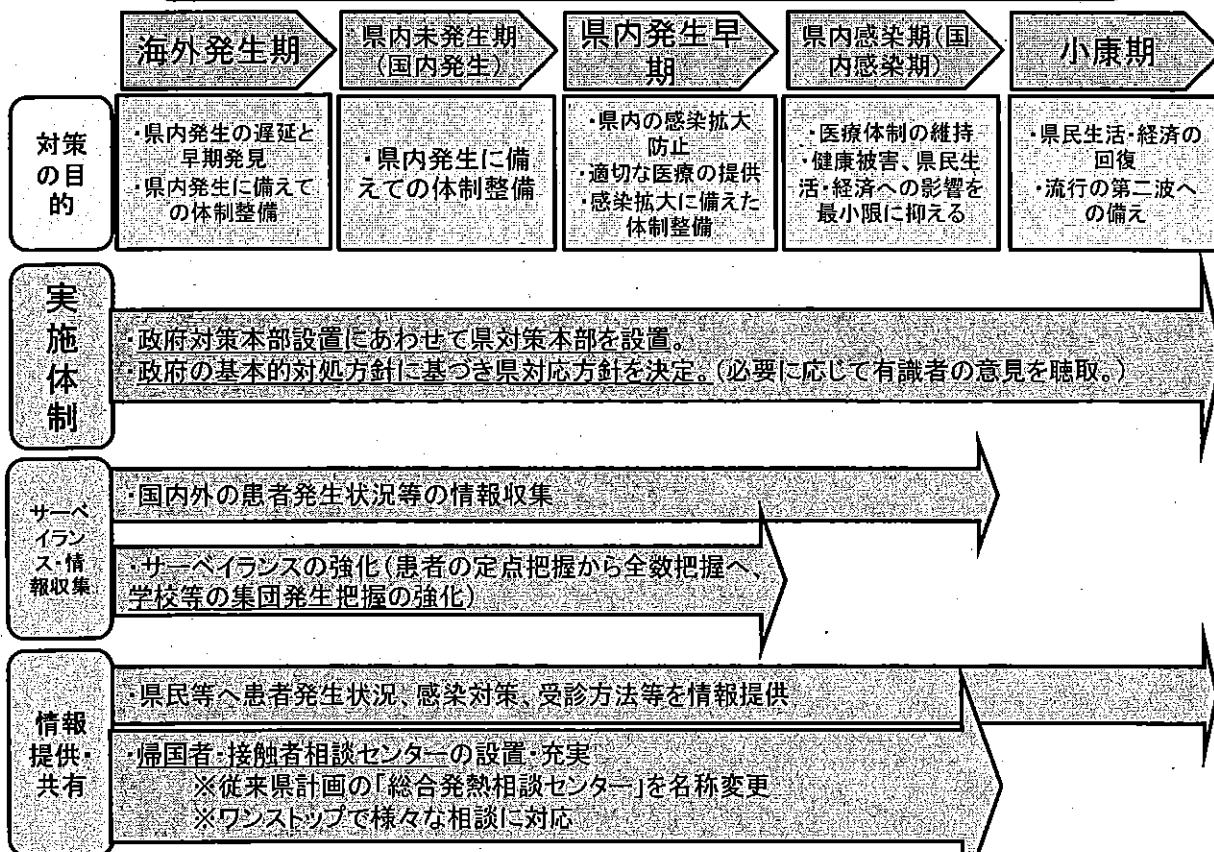
・知識の習得、マスク着用、咳エチケット等の感染対策の実践、食料品等の備蓄。

II-7 発生段階

発生段階	状態	
	国	県
未発生期	新型インフルエンザ等が発生していない状態	
海外発生期	海外で新型インフルエンザ等が発生した状態	
国内発生早期 (県内未発生期・県内発生早期)	国内のいずれかの都道府県で新型インフルエンザ等の患者が発生しているが、全ての患者の接触歴を疫学調査で追える状態	(県内未発生期) 県で新型インフルエンザ等の患者が発生していない状態
		(県内発生早期) 県で新型インフルエンザ等の患者が発生しているが、全ての患者の接触歴を疫学調査で追える状態
国内感染期 (県内未発生期・県内発生早期・県内感染期)	国内のいずれかの都道府県で、新型インフルエンザ等の患者の接触歴が疫学調査で追えなくなった状態	(県内感染期) 県で新型インフルエンザ等の患者の接触歴が疫学調査で追えなくなった状態
小康期	新型インフルエンザ等の患者の発生が減少し、低い水準でとどまっている状態	

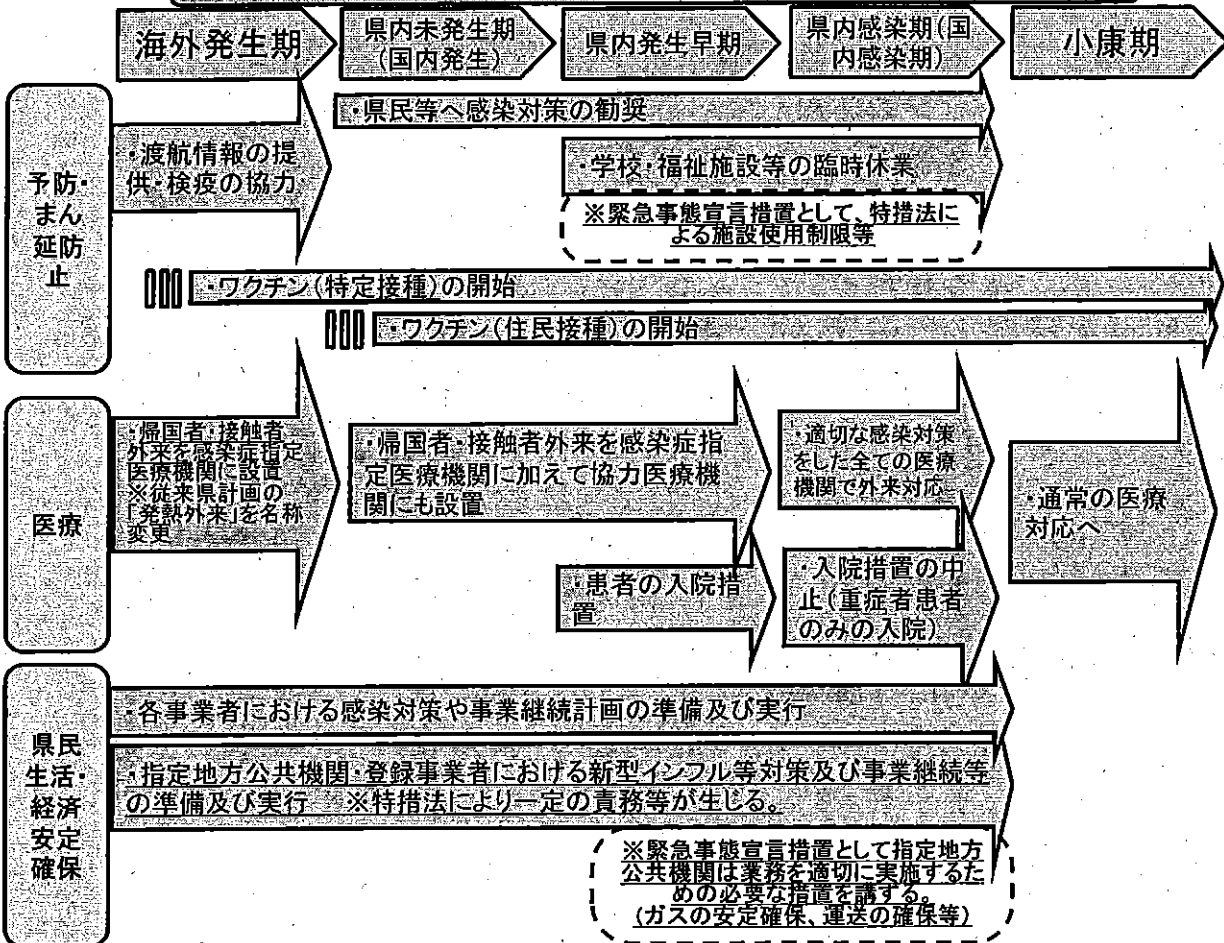
※県内感染期への移行の考え方について、従来は「入院措置等による感染拡大防止効果が十分に得られなくなった状態」として整理。

発生段階ごとの対策の概要



※下線が改正部分

発生段階ごとの対策の概要



がん患者労働相談ワンストップサポートの運用開始について

平成25年10月4日
健康政策課

働くがん患者やその家族の中には、退職や配置転換などにより、就労面や経済面等さまざまな問題に直面され、適切なアドバイスを求める方は少なくないものと推測される。

この度、県内のがん診療連携拠点病院と中小企業労働相談所「みなくる」が連携し、下記のとおり専門的ながん相談と労働相談を同時に提供する体制を新たに構築した。

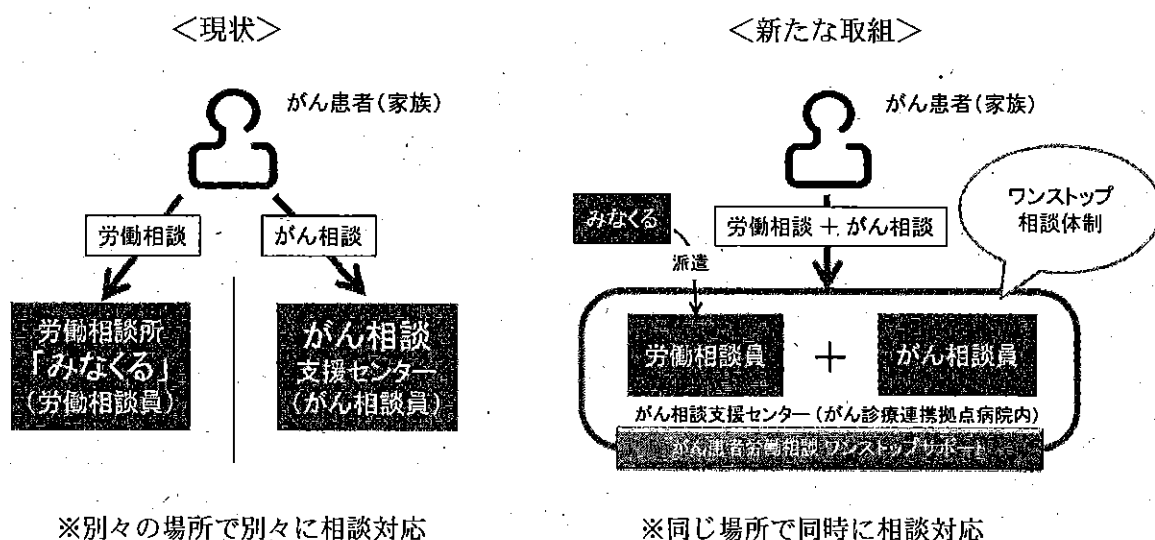
事前予約制で相談費用は無料。本年10月1日から県内一斉に運用を開始した。

記

1. がん患者労働相談ワンストップサポートの詳細について
別添リーフレットのとおりに

2. がん患者労働相談ワンストップサポート構築のメリット

働くがん患者やその家族が抱える「がんと仕事」に係る相談に対し、専門的知識を有するがん相談員と労働相談員の2者が同席し、同時に相談に応じることにより、相互の専門性を活かした、迅速でより質の高い相談支援（アドバイス）が提供可能となる。



解雇
長期入院
偏見差別
治療費
外来通院

部署異動
収入減少
副作用
リハビリ
長期休暇

がんと仕事。

ひとりで悩まないで、まずは相談。

がん労働相談 ワンストップサポート

がんの治療は、あなたの家庭や仕事に大きな影響を及ぼすことがあります。
がんの療養生活やがん医療費などの各種支援制度に詳しいがん相談員と、労働トラブルや社会保険を含めた各種労働制度に詳しい労働相談員。通常両者は、それぞれ別の場所で、別々な活動していますが、あなたの「がんと仕事」の悩みに同時(ワンストップ)にお応えしようと、この2つの相談員が手を繋ぎました。

がん相談と労働相談を同時に提供することで、あなたへの支援の幅がぐつと広がります。

私たちは、あなたの闘病と「働く」をサポートします。

ワンストップサポートを希望される方は、3営業日前までに電話予約が必要です。

地域	開設場所(*1)	開設日時(*2)	がん相談支援室	労働相談所
東部	鳥取県立中央病院 がん相談支援室	毎月第1金曜日 午後2時～4時	がん相談支援室 0857-21-8501	労働相談所 「みなくる鳥取」 0120-451-783 0857-25-3000
	鳥取市立病院 がん総合支援センター	毎月第3金曜日 午後2時～4時	がん総合支援センター 0857-37-1570	
中部	鳥取県立厚生病院 がん相談支援室	毎月第4火曜日 午後2時～4時	がん相談支援室 0858-22-8181	労働相談所 「みなくる倉吉」 0858-23-6131
西部	鳥取大学医学部附属病院 がん相談支援室	随時	がん相談支援室 0859-38-6294	労働相談所 「みなくる米子」 0859-31-8785
	米子医療センター がん相談支援センター	随時	がん相談支援センター 0859-37-3930	

※1 開設場所の医療機関以外の患者様でも対応可能です。

※2 お急ぎの場合は、別途ご相談ください。

広げよう！あいサポート運動シンポジウム 第3回鳥取県障がい者芸術文化祭

平成25年11月3日(日)

会場：とりぎん文化会館 小ホールほか

時間：10:00～17:00

共にアートで
生きていこう

- 10:00～ オープニング
平成26年度第14回全国障がい者
芸術・文化祭とっとり大会愛称発表など
- 10:30～ あいサポート運動連携県からの取組発表

16:15～人形劇公演

ゲスト デフ・パペットシアター・ひとみ
デフ・パペットシアター・ひとみ/日本で唯一、ろう者と
聴者が協力して公演活動を行っているプロ人形劇団。
芸術性の高い舞台は、ろう者・聴者の壁を超えて、楽し
めるものとなっています。

11:10～あいサポートシンポジウム講演

ゲスト 車椅子の音楽リーダー 佐野有美さん

佐野有美(さの あみ)/1990年4月6日生まれ。愛知県出身。先天性
四肢欠損症で生まれる。高校在学中、チアリーディング部に所属し“車
椅子のチアリーダー”として地元マスコミで話題となる。現在は多方面
からの歌や講演依頼を受け積極的に活動中。



13:00～県内団体によるステージ発表

10:00～ バリアフリー映画上映会
13:00～ 「ドルフィンブルー フジ、もういちど宙へ」

終日開催 スウィーツ甲子園 鳥取県大会

ワークショップ「和紙でつくるアートインテリア」など



同時開催 「第6回きらきらアート展」「アール・ブリュットポスター展」

●お問合せ先 鳥取県障がい福祉課/第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会実行委員会事務局
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220(鳥取市東町) 福祉課内 TEL:0857-26-7157 FAX:0857-26-8136 全国障がい者芸術・文化祭 とっとり

このシンポジウムは全国モーターボート競争施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

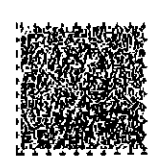


第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

平成26年7月～開催

会期 平成26年7月12日(土)～11月3日(月・祝) 会場 とりぎん文化会館/倉吉未来中心/米子市文化ホール ほか県内各所

▲目の不自由な方のための
音声コード



広げよう！あいサポート運動シンポジウム 第3回鳥取県障がい者芸術文化祭

このイベントは「全国障がい者芸術・文化祭」のプレイベントとして開催され、鳥取県内の障がい者の方々の生活を豊かにするとともに、障がいへの理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加の促進を目的とした大会です。

平成25年
11月3日(日)
開催時間/10:00~17:00
とりぎん文化会館
小ホールほか

1 スウィーツ甲子園 鳥取県大会

スイーツを通じて自己表現や、夢の実現のチャンスを提供する「スイーツ甲子園」の鳥取県大会を開催します。当日はエントリー作品の試食や販売もいたします。



※写真はイメージです

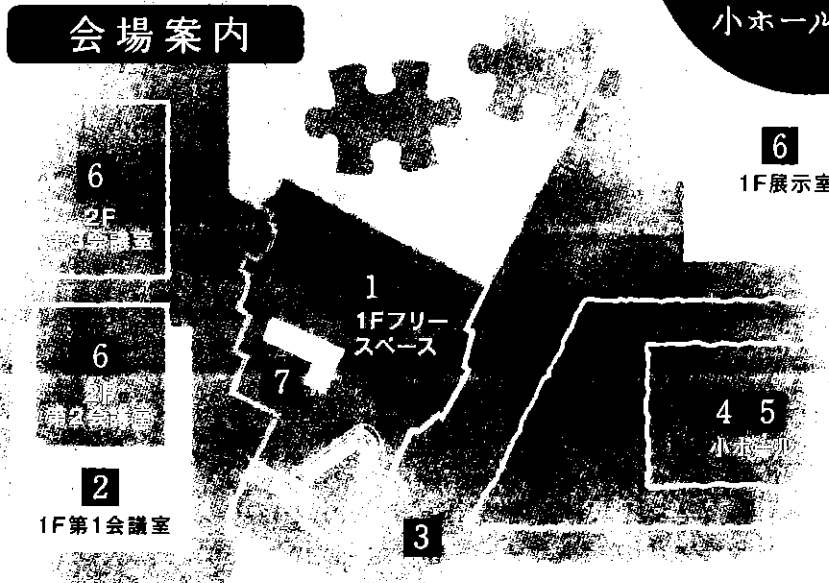
2 バリアフリー映画上映

視覚や聴覚に障がいがあっても楽しめるバリアフリー映画を上映します。

ドルフィンブルー
フジ、もういちど宙へ
尾びれを失ったバンドウイルカが、人工尾びれを付けて再び泳ぐまでを描いた絆と感動の物語。沖縄の沖縄美ら海水族館でであった実話を基にしている。



会場案内



3 ワークショップ

誰でもアート作品創作を体験できるブースを設置。小さなお子様や障がいのある方、誰もが簡単に楽しめるワークショップを開催します。お気軽にご参加下さい。

作品テーマ

和紙でつくる
アートインテリア

4 ステージイベント

- ◎県内団体によるステージ発表
- ◎デフ・パペットシアター・ひとみ 人形劇公演

デフ・パペットシアター・ひとみ
デフ・パペットシアター・ひとみは、日本で唯一、ろう者と聴者が協力して公演活動を行っているプロ人形劇団。芸術性の高い舞台は、ろう者・聴者の壁を超えて、楽しめるものになっています。



5 シンポジウム講演

車椅子のチアリーダー
佐野有美さん講演会

「車椅子のチアリーダー」佐野有美さんによるシンポジウム講演会を行います。



佐野有美(さの あみ)

1990年4月6日生まれ。愛知県出身。先天性四肢欠損症で生まれる。高校在学中、チアリーディング部に所属し「車椅子のチアリーダー」として地元マスコミで話題となる。現在は多方面からの歌や講演依頼を受け積極的に活動中。

開催プログラム(小ホール)

- 10:00~ オープニング
平成26年度全国大会愛称発表/きらきらアート展優秀作品表彰式
- 10:30~ あいサポート運動連携県からの取組発表
- 11:10~ シンポジウム講演会 講師/佐野有美さん
- 12:00~ 休憩 障がいのある方が就労する事業所でつくったパンなどの販売を行います。
- 13:00~ オープニングステージ/合唱
- 13:20~ 県内団体による ステージパフォーマンスなど
- 16:15~ デフ・パペットシアター・ひとみ人形劇公演

※プログラムは変更となる場合があります。予めご了承ください。 ※小ホール以外でも各種イベントを開催します。

同時開催 平成25年10月31日(木)~11月6日(水)
会場:とりぎん文化会館 1Fフリースペース、展示室ほか

6 第6回きらきらアート展

鳥取県内から公募した美術作品を展示します。さらに広島・鳥根・長野などのあいサポート運動連携県からの招待作品も展示します。優秀作品は11/3にイベント内で表彰します。

7 アール・ブリュットポスター展

アール・ブリュット(Art Brut)とは「生の芸術」という意味で、美術の専門的な教育を受けていない人が、伝統や流行などに左右されずに自身の内側から湧きあがる衝動のまま表現した芸術のことです。今回はそんなアール・ブリュットのポスター作品を展示します。

あいサポート運動とは ~まず、知ることから始めましょう~

様々な障がいの特性や障がいのある方が困っていること、そしてそれぞれに必要な配慮を理解し、日常生活でちょっとした配慮を実践していく「あいサポーター」の活動を通じて、誰もが暮らしやすい地域社会(共生社会)をみなさんと一緒につくっていく運動です。

SUPPORTER

第14回全国障がい者 芸術・文化祭 とっとり大会

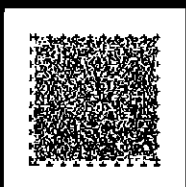
会期 平成26年7月12日(土)~11月3日(月・祝)

●お問合せ先 鳥取県障がい福祉課/第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会実行委員会事務局

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220(鳥取県庁障がい福祉課内)
TEL:0857-26-7157 FAX:0857-26-8136

詳しくはweb

全国障がい者芸術・文化祭 とっとり



▲目の不自由な方のための音声コード